

小学生と AI：安全・安心な使い方のポイント（保護者向け）

最近、テレビやネットで「AI（人工知能）」という言葉が耳にする機会が増えています。チャット形式で会話したり、文章を作ってくれたりする AI も登場し、今後、子どもたちの学びや生活に関わる可能性が高まっています。一方で、子どもの年齢や発達段階によっては、AI を使ったいじめや誤情報の拡散、精神的ストレスといったリスクも報告されています。以下のポイントをご確認いただき、お子さまが**安全かつ有意義に AI を活用**できるようサポートをお願いいたします。

1. AI はあくまで「道具」：丸ごと信用は禁物

- AI は、大量のデータをもとに「それっぽい答え」を返しているだけであり、**必ずしも正しい情報ばかりではありません**。
- 「AI が言っているから絶対正しい」とは限らないことを、お子さまと話し合ってください。
- AI は、大量のデータをもとに「それっぽい答え」を返しているだけであり、**必ずしも正しい情報ばかりではありません**。
- 「AI が言っているから絶対正しい」とは限らないことを、お子さまと話し合ってください。
- 特に小学生の場合、自分で十分に事実確認ができないことも多いです。保護者の方が一緒に「本当にそうかな？」と確かめたり、書籍・ネットで再度調べたりする習慣をつけましょう。

2. 自分で考える力を育むために

- AI は宿題のヒントを教えてくれることもありますが、**答えをそのまま写すだけだと学びになりません**。「どうしてそう思うの？」「どこがポイントだろう？」など、**お子さまと一緒に考える声かけ**をお願いします。
- 「どうしてそう思うの？」「どこがポイントだろう？」など、**お子さまと一緒に考える声かけ**をお願いします。
- **フロリダ州での事例**などでも、AI に過度に依存した結果、子どもが思考停止や不安定な状態に陥ったケースがありました。AI 任せにせず、**人との対話や自分で考える時間**を大切にしましょう。

3.トラブル防止のために

3-1. いじめ・誹謗中傷

- 子どもが AI を使って友だちの悪口を文章化したり、AI に作らせた差別的表現を SNS で拡散したりする危険性があります。
- 「AI を使っても使わなくても、人を傷つけることは絶対にしてはいけない」と、普段から家庭内で話し合ってください。

- 「AIを使っても使わなくても、人を傷つけることは絶対にしてはいけない」と、普段から家庭内で話し合ってください。
- 万一、誰かを傷つける表現をAIで作ってしまったり、被害を受けた場合は、すぐに学校や保護者会・担任に相談をお願いします。

3-2. 不適切なコンテンツ・暴力的な提案

- AIが暴力的・自殺をほのめかすようなメッセージを出す事例が海外で報告されています。
- AIの言葉で不安や恐怖を感じたり、嫌な思いをしたら、必ず大人に相談していいんだよと、お子さまに伝えてください。

3-3. 個人情報の取り扱い

- お子さまが、住所や電話番号、顔写真などの**個人情報**をAIに入力しないよう注意してください。
- AIに送信したデータは、サービス提供会社のサーバーに保存・分析される可能性があるため、入力内容には十分ご注意ください。

4. 保護者としての見守りポイント

1. こまめな声かけ・興味共有

- お子さまがAIを使うとき、どんな話題を聞いているか興味を持ってみてください。
- 「AIは何て言った?」「それで納得できた?」「ほかに調べてみた?」など、**会話を通じた見守り**がトラブルの早期発見にもつながります。

2. 使いすぎに注意

- AIへどんどん質問すると、答えがスラスラ返ってくるため、使いすぎてしまう子もいます。
- 時間や回数がある程度制限したり、「**宿題が終わるまでAIはお休み**」などルールを設けるとよいでしょう。
- 時間や回数がある程度制限したり、「**宿題が終わるまでAIはお休み**」などルールを設けるとよいでしょう。
- 依存の兆候（常にAIとばかり話して人間関係が希薄になるなど）が見られたら、早めに学校や専門家へ相談してください。

3. 困ったときは早めに相談を

- お子さまが不適切な返答を受けとったり、精神的につらそうにしている場合は、**担任の先生やスクールカウンセラー**などに早めに相談してください。
- 「AIの言葉だからあまり深刻じゃない」とは考えず、本人が感じる恐怖や不安をしっかりと受け止めてあげることが大切です。

5. 保護者同士・学校との連携

- 学校でも、**生成系 AI の授業活用**や、安全管理の指導を進めています。
- 保護者の皆さまには、学期初めなどで開かれる保護者会や学校からの文書等を通じて、ぜひ AI に関する方針やルールをご確認ください。
- 保護者の皆さまには、学期初めなどで開かれる保護者会や学校からの文書等を通じて、ぜひ AI に関する方針やルールをご確認ください。
- 家庭内での使用ルールや、トラブルが起きたときの相談先を**事前に話し合っておく**と安心です。

6. おわりに

AI は使い次第で、**子どもたちの学びや興味を広げるすばらしいツール**になります。一方で、誤情報や不適切な内容、いじめへの利用などのリスクも存在することを踏まえ、**家庭での見守りと安全な使い方のルールづくり**が欠かせません。

困ったことがあれば、**一人で抱えず学校や専門家へ早めに相談**するようお子さまにも伝えていただくと幸いです。皆さまのご協力をお願い申し上げます。

<まとめ>

- **AI の答えを全部信用しない・必ず確認する。**
- **人を傷つける表現や個人情報の入力は絶対 NG。**
- **AI の答えを全部信用しない・必ず確認する。**
- **人を傷つける表現や個人情報の入力は絶対 NG。**
- **違和感や不安、トラブルがあったら早めに大人へ相談。**

上記ポイントを押さえて、AI を上手に使いこなす子どもたちの成長を、学校と共に応援していきましょう。